

# 栗田工業株式会社

## 2015年3月期 第3四半期決算説明会

(証券コード:6370)

2015年2月2日

**I** 2015年3月期第3四半期実績

**II** 2015年3月期通期計画

**III** 欧州における水処理関連事業の買収について

# 2015年3月期第3四半期実績

1. 業績ハイライト
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
3. 水処理薬品事業
4. 水処理装置事業（電子産業向け）
5. 水処理装置事業（一般産業向け）
6. 財政状態

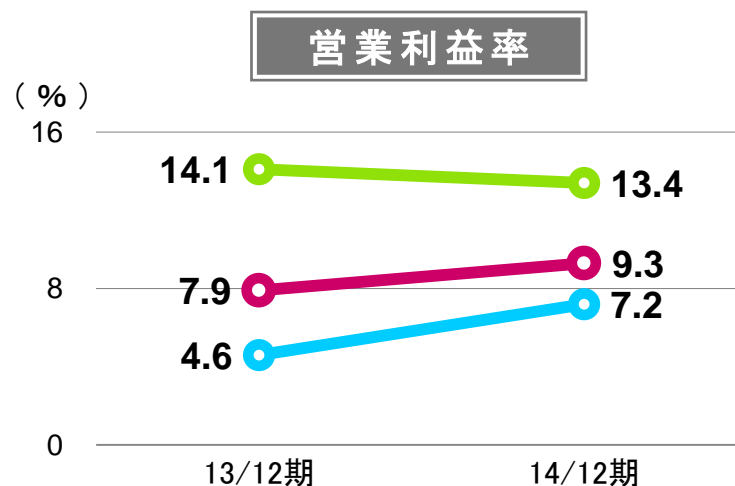
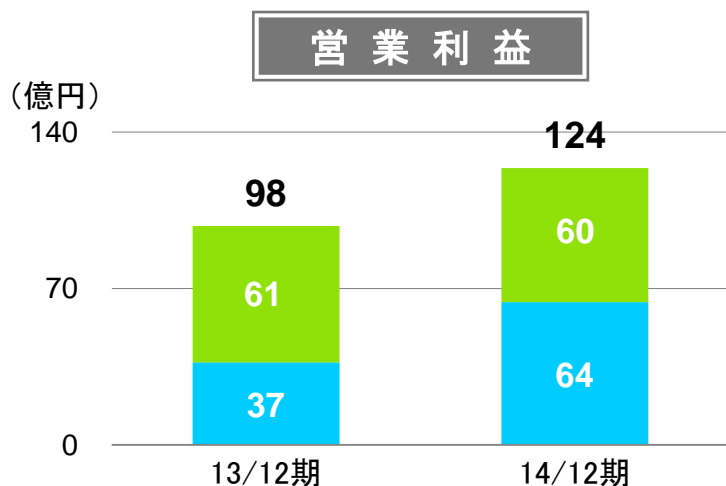
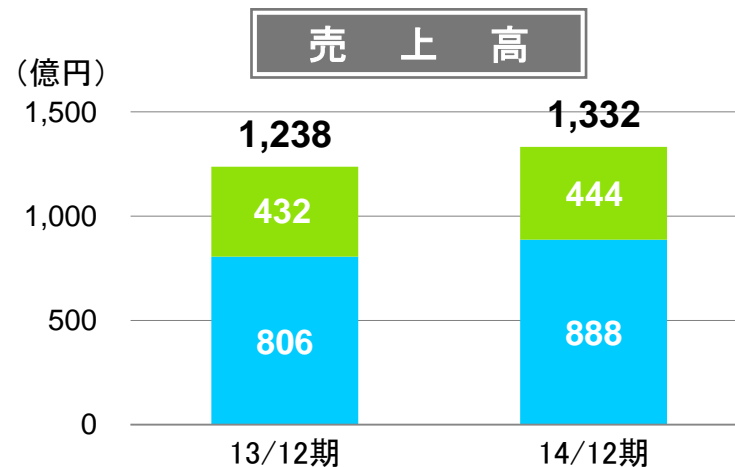
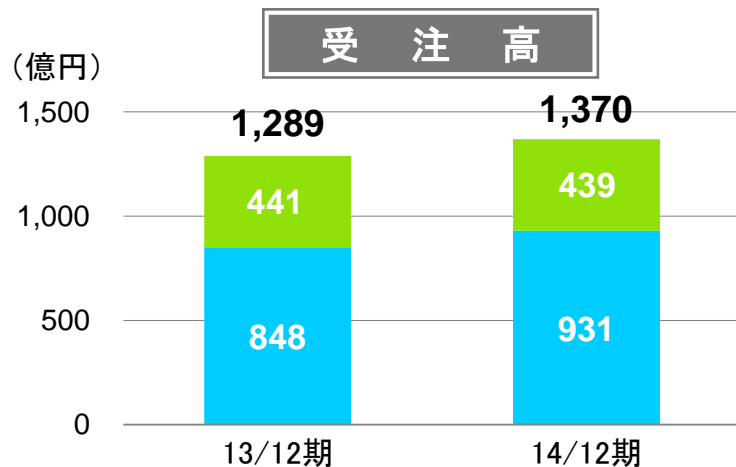
## 1. 業績ハイライト

(億円)

	2013/12期	2014/12期	前年同期比
受注高	1,289	1,370	+6.3%
売上高	1,238	1,332	+7.6%
売上総利益	395	416	+5.4%
販管費	297	293	-1.6%
営業利益	98	124	+26.5%
営業利益率	7.9%	9.3%	
営業外収支	9	3	—
経常利益	107	127	+18.9%
四半期純利益	63	77	+22.7%

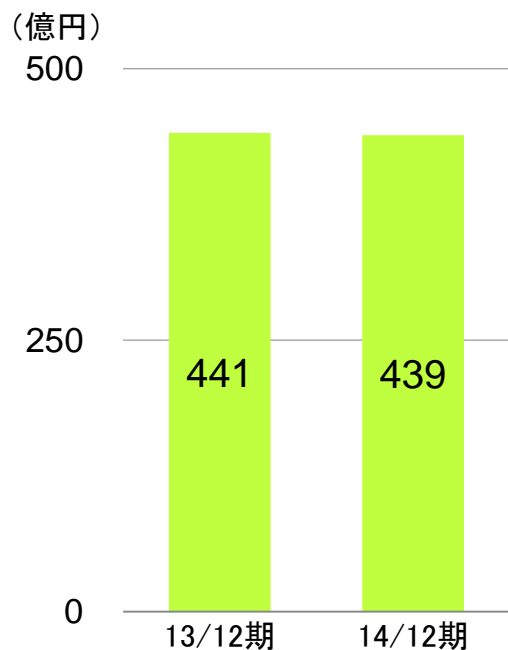
## 2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

水処理薬品事業
 水処理装置事業
 全社



### 3. 水処理薬品事業

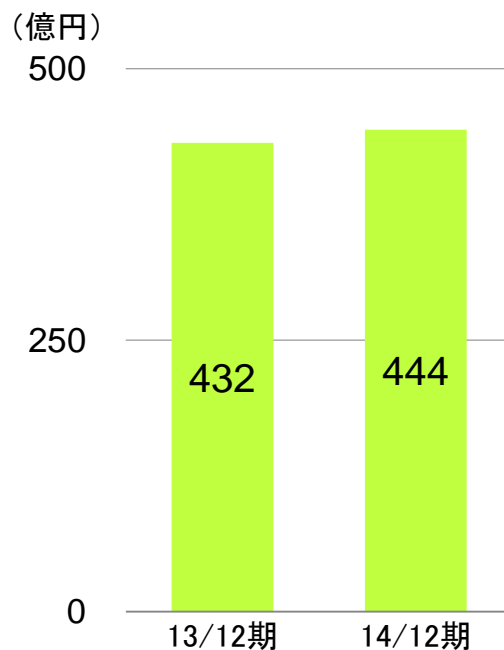
#### 受注高



【主な増減分野】

- 国内:主力商品の減少(-)
- 海外:中国・東南アジアが伸長(+)

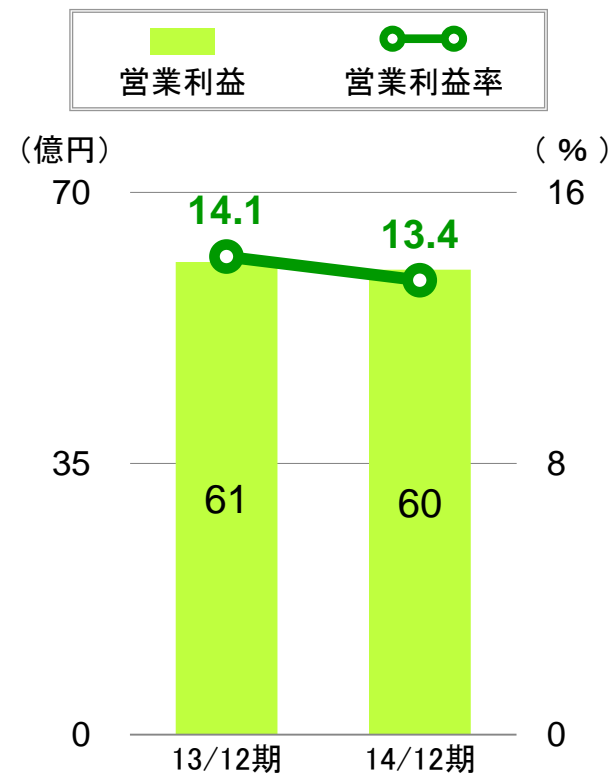
#### 売上高



【主な増減分野】

- 国内:主力商品の減少(-)
- 海外:中国・東南アジアが伸長(+)

#### 営業利益・営業利益率

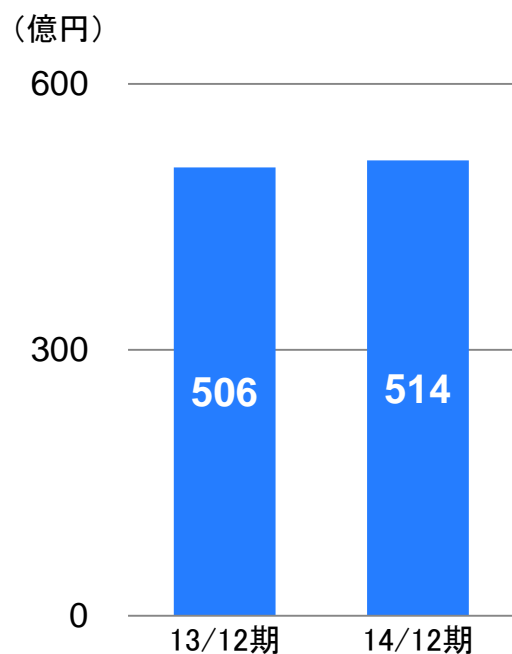


【主な増減要因】

- 原価率の悪化 (-)
- 販管費の増加 (-)
- 増収効果 (+)

## 4. 水処理装置事業（電子産業向け）

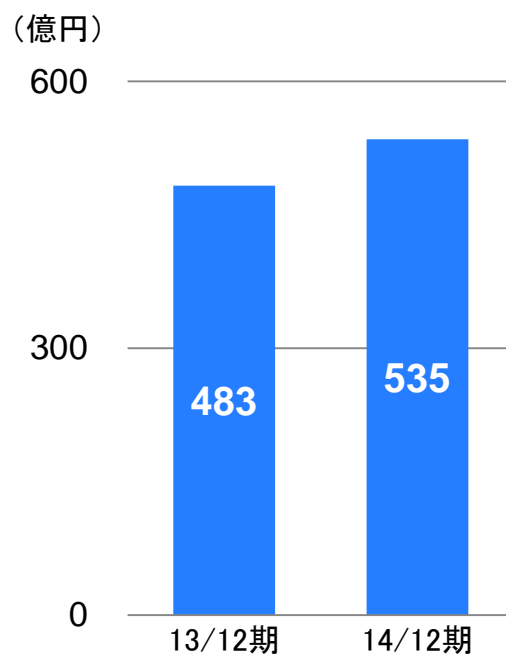
### 受注高



#### 【主な増減分野】

- 海外ハードの増加 (+)
- 国内メンテナンスの増加 (+)
- 国内ハードの減少 (-)

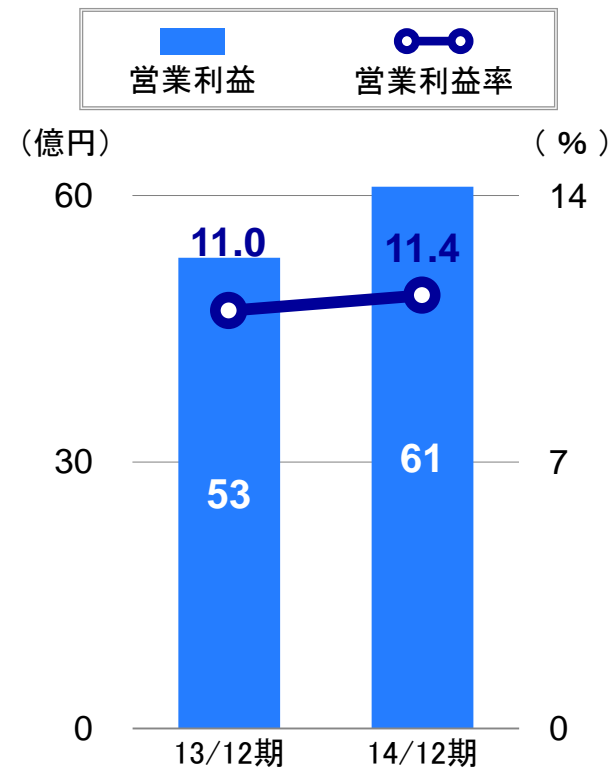
### 売上高



#### 【主な増減分野】

- 海外ハードの増加 (+)
- 国内メンテナンスの増加 (+)

### 営業利益・営業利益率

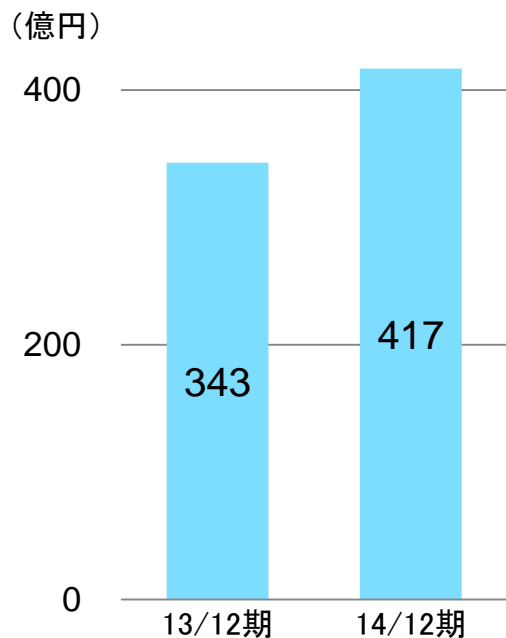


#### 【主な増減要因】

- 増収効果 (+)
- 販管費の削減 (+)

## 5. 水処理装置事業（一般産業向け）

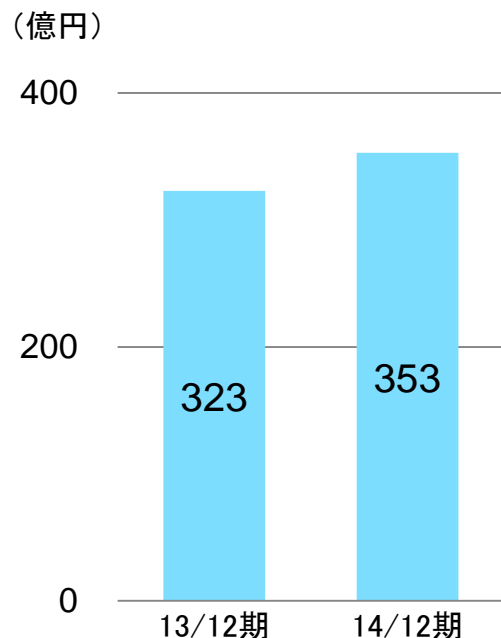
### 受注高



【主な増減分野】

- メンテナンスの増加 (+)
- 電力向けハードの増加 (+)
- 一般向けハードの増加 (+)

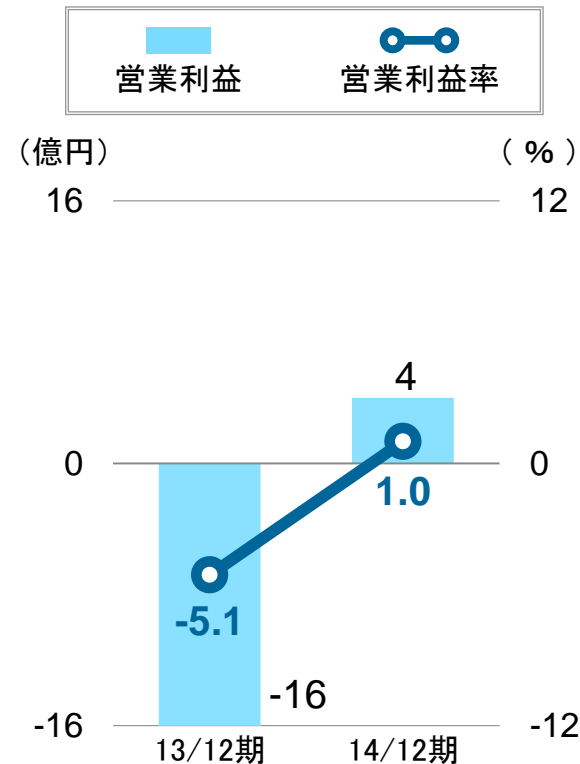
### 売上高



【主な増減分野】

- 電力向けハードの増加 (+)
- 一般向けハードの増加 (+)

### 営業利益・営業利益率

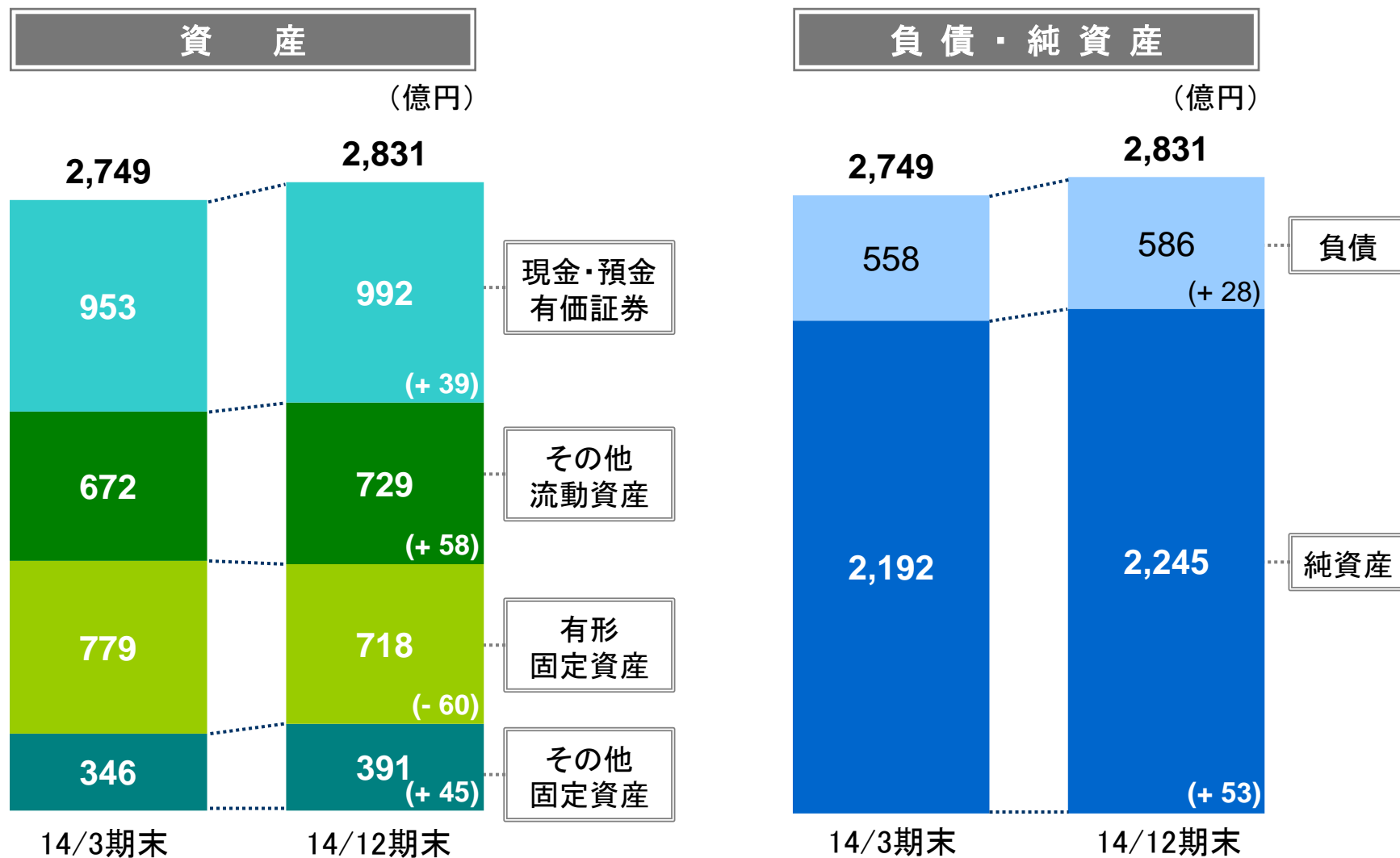


【主な増減要因】

- 原価率の改善 (+)
- 増収効果 (+)



## 6. 財政状態



# 2015年3月期通期計画

1. 総括
2. 受注高・売上高・営業利益
3. サービス事業売上高
4. 海外事業（地域別・事業別売上高）
5. 設備投資・減価償却費・研究開発費
6. 自己株式の取得

## 1. 総括

(億円)

	2014/3期 実績	2015/3期 計画	前期比	2015/3期 前回計画	前回計画差
受注高	1,735	1,860	+7.2%	1,890	-30
売上高	1,781	1,880	+5.5%	1,850	+30
売上総利益	553	577	+4.4%	574	+3
販管費	404	397	-1.7%	404	-7
営業利益	149	180	+20.9%	170	+10
営業利益率	8.4%	9.6%		9.2%	
営業外収支	12	-2	—	8	-10
経常利益	161	178	+10.8%	178	—
当期純利益	94	110	+17.6%	110	—

## 2. 受注高・売上高・営業利益

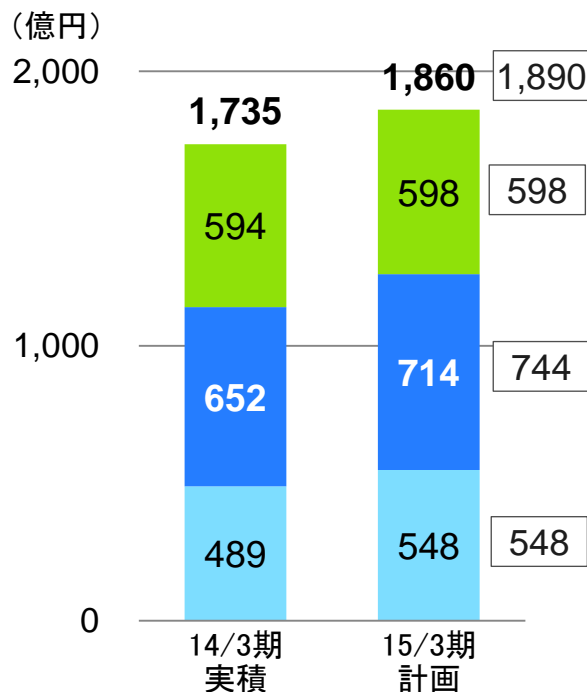
■ 水処理薬品事業

■ 水処理装置事業(電子産業向け)

■ 水処理装置事業(一般産業向け)

\* □ 内は前回計画

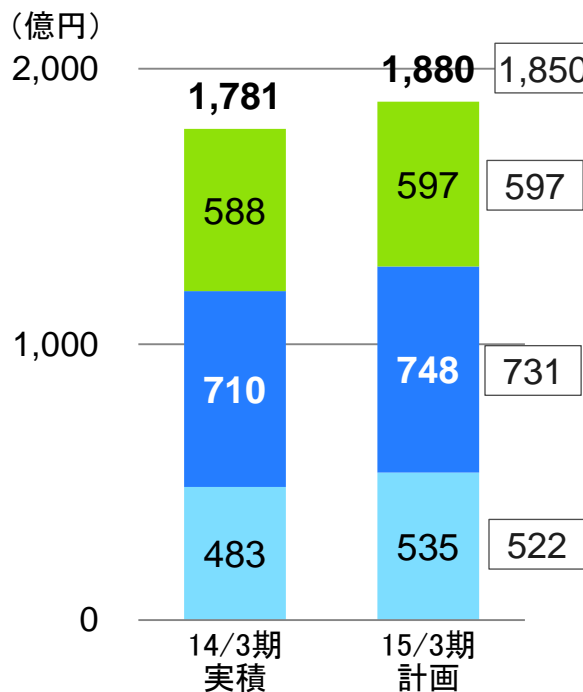
### 受注高



【主な修正の要因】

- 電子向けハードの下方修正

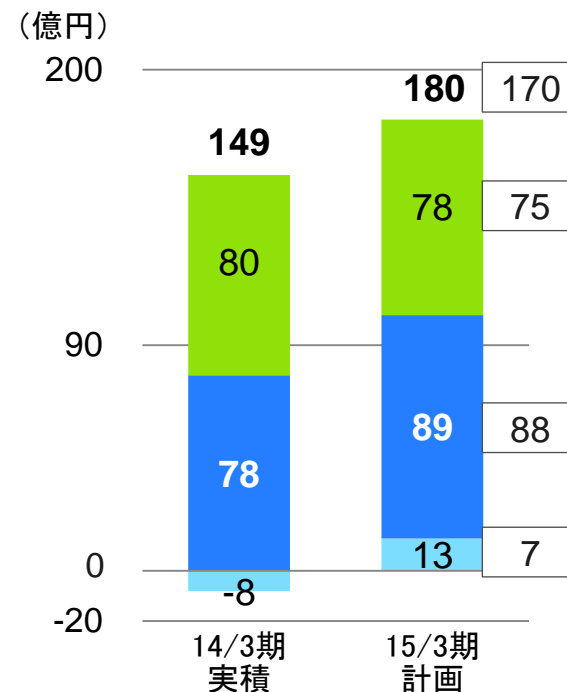
### 売上高



【主な修正の要因】

- 電力向けハードの上方修正
- 電子向けハードの上方修正
- 電子向けメンテナンスの上方修正

### 営業利益

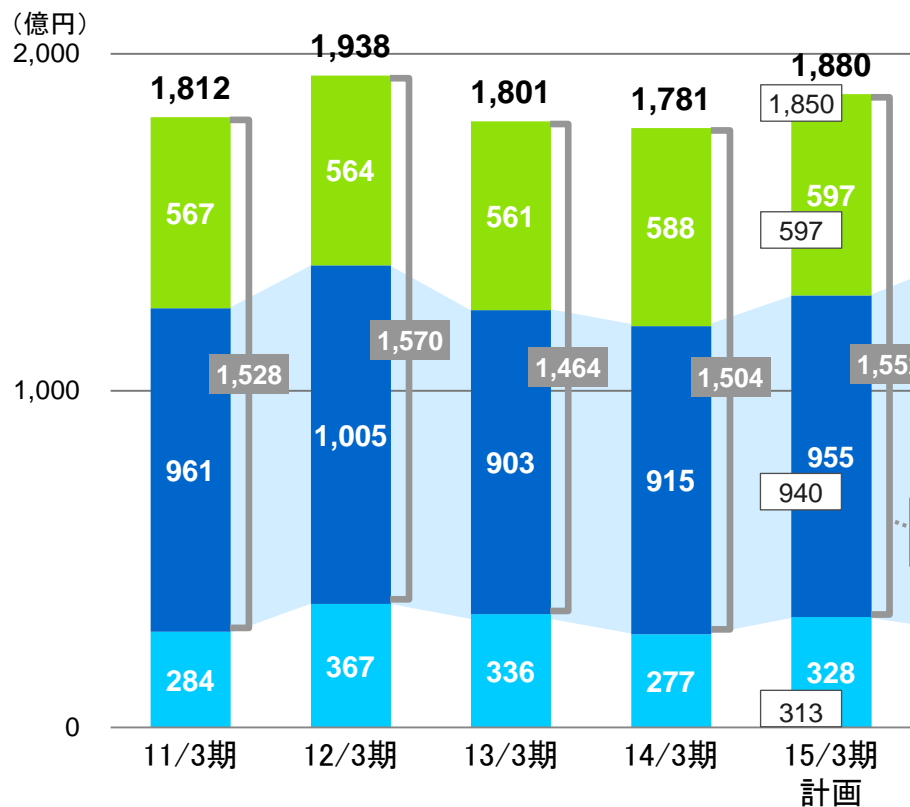


【主な修正の要因】

- 売上高の上方修正
- 販管費の削減

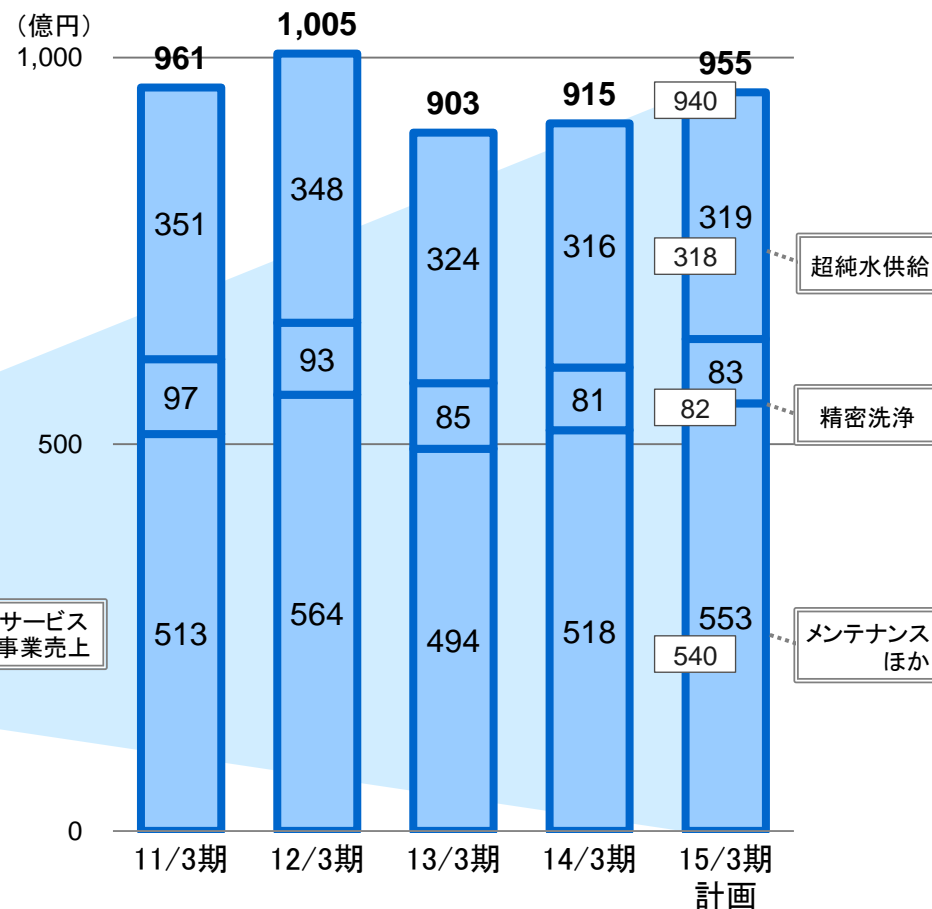
### 3. サービス事業売上高

- 水処理薬品事業
- 水処理装置事業(サービス)
- 水処理装置事業(ハード)
- \* □ 内は前回計画



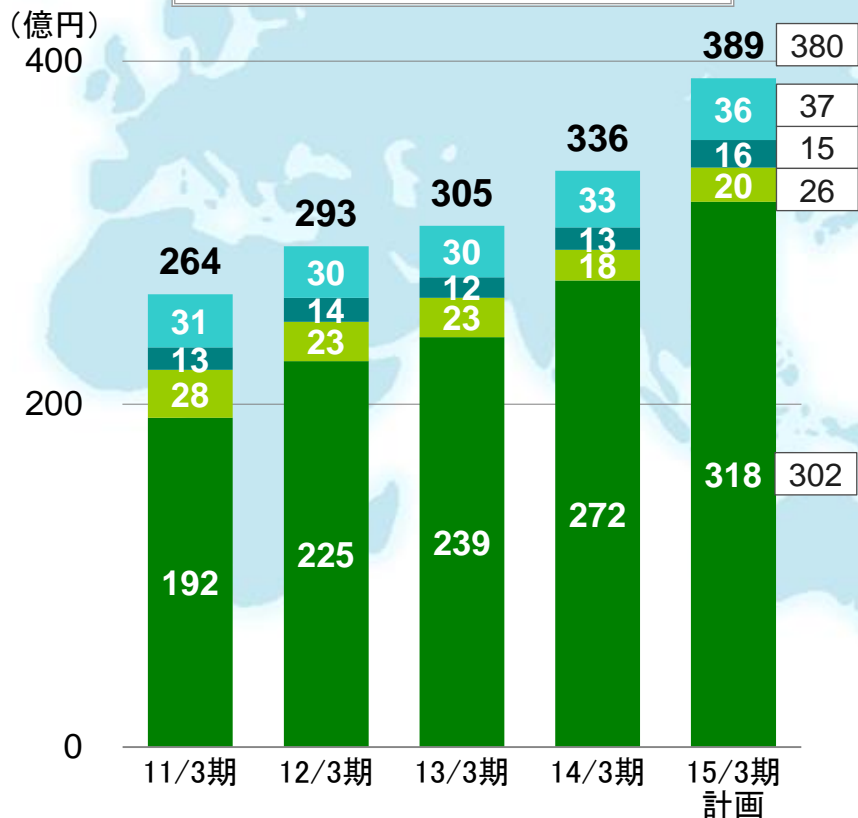
#### 装置事業中のサービス事業売上高内訳

\* □ 内は前回計画

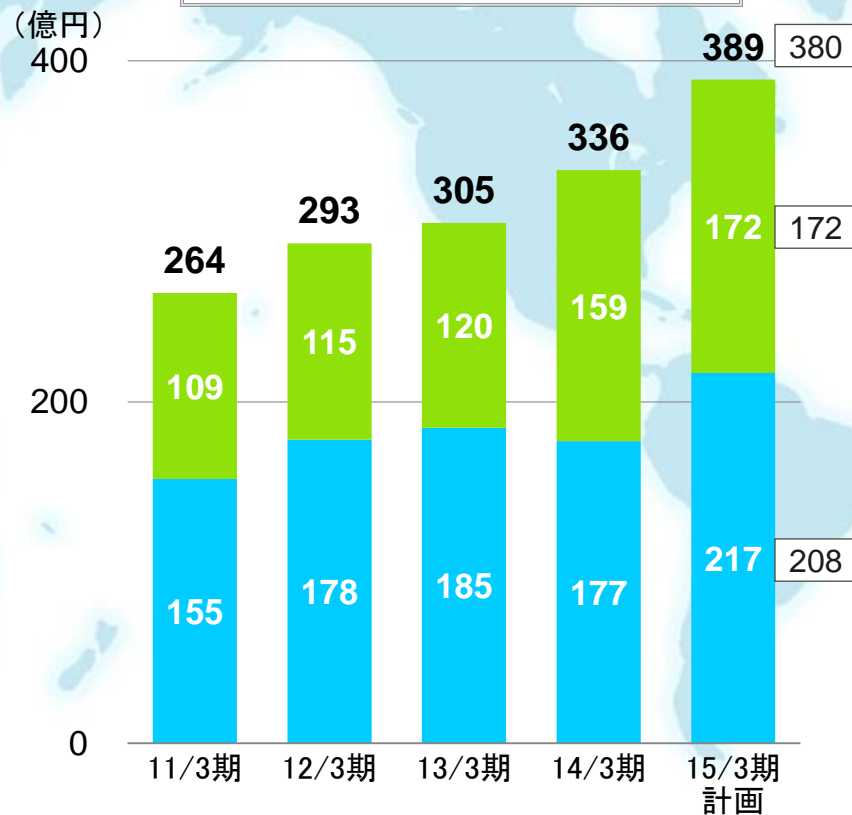
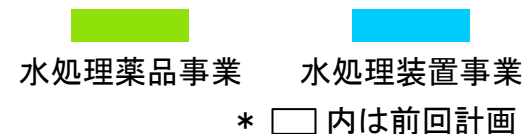


## 4. 海外事業（地域別・事業別売上高）

海外地域別売上高



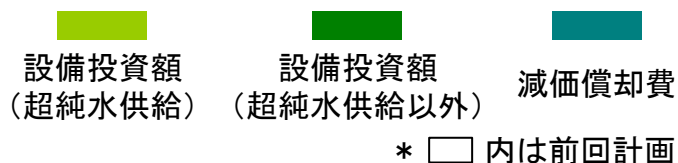
海外事業別売上高



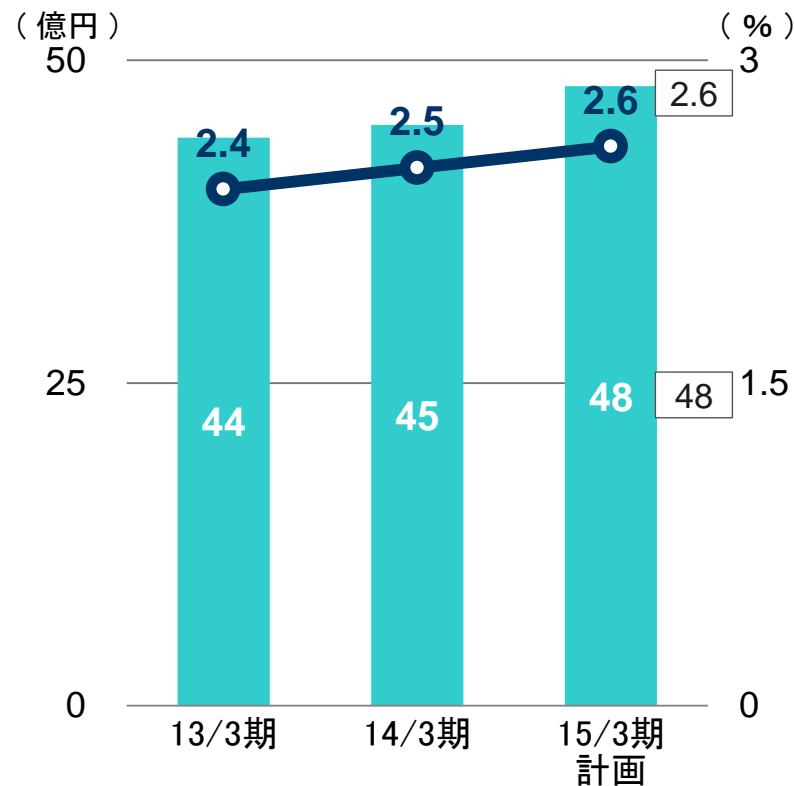
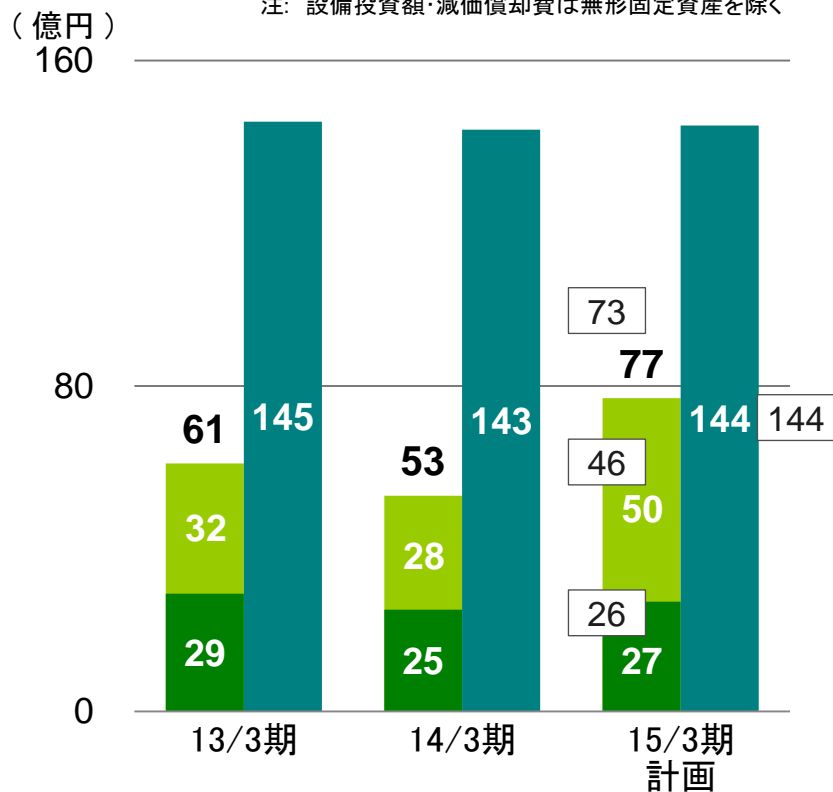
## 5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

### 設備投資・減価償却費

### 研究開発費



注: 設備投資額・減価償却費は無形固定資産を除く



## 6. 自己株式の取得

### 【取得の内容】

取得株式総数	400万株(上限) (発行済株式総数に対する割合 : 3.36%)
取得価格総額	100億円(上限)
取得期間	2015年2月9日～4月30日

経営環境に応じて機動的な資本政策を実行し、資本効率の向上を図る



# 欧州における水処理関連事業の買収について

1. 買収の概要
2. 買収対象事業の概要
3. 買収の目的と狙い
4. 収益貢献

## 1. 買収の概要

取引概要	当社によるドイツBK Giulini (BKG) 社及びその関係会社の水処理薬品・紙プロセス薬品・アルミナ化合物事業(以下「買収対象事業」)の買収
買収ストラクチャー概要	当社の100%子会社であるドイツの買収目的会社を買収対象事業の資産・負債及び関連企業の株式を譲り受け
買収総額	237百万ユーロ(321億円*)
クロージング	2015年1月31日
のれん金額と償却方法	179百万ユーロ(242億円*) / 15年均等償却
知的財産権と償却方法	28百万ユーロ(38億円*) / 10年均等償却
投資回収期間	10年前後(EBITDAベース)
買収資金の調達方法	手元現預金

注:

\* 中国の事業拠点は買収手続きを継続中

\* ユーロ/円の為替レートは、1ユーロ135.38円で換算

## 2. 買収対象事業の概要

### 事業概要

#### 水処理薬品

水処理薬品の製造・販売・サービス

#### 紙プロセス薬品

紙の製造過程における機能性薬品(湿潤紙力増強剤・表面サイズ剤など)の製造・販売・サービス

#### アルミナ化合物

アルミニウム塩及び特殊化学品(酸・中・アルカリ性)等の製品の製造・販売。(主な用途は用・排水処理、土木用添加剤、紙用添加剤など)

### 売上高

173百万ユーロ(243億円\*)

### 営業利益

9百万ユーロ(13億円\*)

### EBITDA

14百万ユーロ(20億円\*)

### 純資産

30百万ユーロ(42億円\*)

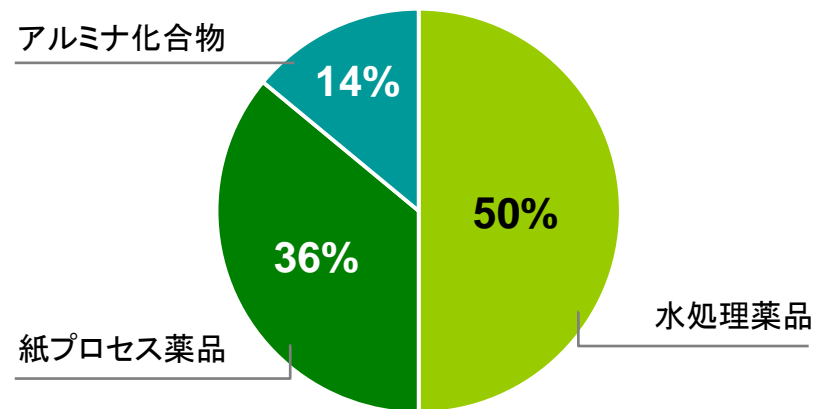
### 従業員数

約460人

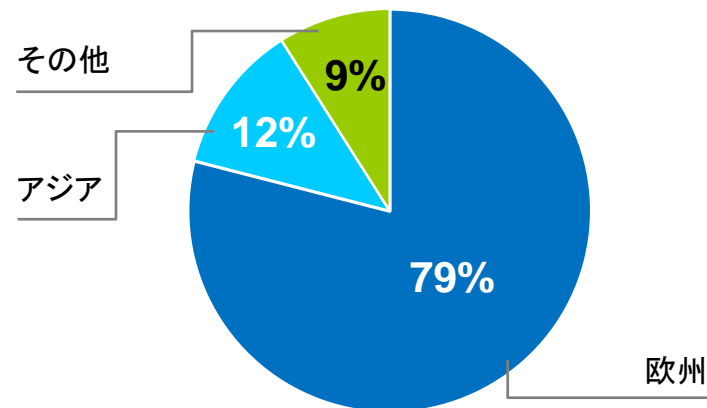
### 主要拠点

【工場所在地】ドイツ:ルートヴィヒスハーフェン  
中国:江蘇省、遼寧省  
トルコ:バンドゥルマ  
【研究開発拠点】ドイツ:デュッセルドルフ  
【販売拠点】ドイツ、フランス、ギリシャ、イタリア、スペイン、ポーランド、スウェーデン、中国、トルコ

### 事業別売上高



### 地域別売上高



注:

- \* 2014年度業績見通し
- \* 統合費用前倒し約3百万ユーロ(4億円)を含む
- \* ユーロ/円の為替レートは1ユーロ140.4円で換算

## 3. 買収の目的と狙い

地域及び技術・商品の両面で補完性が高い

### 買収対象事業の強み

#### 【地域】

- 欧州でのプラットフォーム  
(顧客基盤・生産拠点)

### クリタの強み

#### 【地域】

- 日本を中心とするアジアでの基盤  
(販売網・技術開発力)

海外売上高比率は28%に、欧州売上高比率は10%に

### 買収対象事業の強み

#### 【技術・商品】

- 紙プロセス薬品  
(湿潤紙力増強剤・表面サイズ剤など)
- ポリマー製造技術

### クリタの強み

#### 【技術・商品】

- ボイラ薬品
- 冷却水薬品
- 逆浸透(RO)膜処理薬品
- ポリマー開発技術
- センシング技術

## 4. 収益貢献

	買収対象事業 2014年度見通し		2017年度計画	
	現地通貨ベース (百万ユーロ)	円ベース *2 (億円)	現地通貨ベース (百万ユーロ)	円ベース *3 (億円)
売上高	173	243	251	339
営業利益 (のれん・知的財産権償却前)	9 *1	13 *1	20	27
のれん・知的財産権償却費	—	—	△15	△20
営業利益 (のれん・知的財産権償却後)	9	13	5	7
純利益 (のれん・知的財産権償却後)	7	9	1	1
キャッシュ・インカム *4	—	—	20	26

注:

- \*1 統合費用前倒し約3百万ユーロ(4億円)を含む
- \*2 ユーロ/円の為替レートは1ユーロ140.4円で換算
- \*3 ユーロ/円の為替レートは1ユーロ135円で換算
- \*4 純利益+のれん償却費+知的財産権償却費+減価償却費

■ 3年後にのれん・知的財産権償却後の営業利益で7億円、キャッシュ・インカムで26億円の貢献を見込む。

# 栗田工業株式会社

■ U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>

■ M A I L ■ [ir@kurita.co.jp](mailto:ir@kurita.co.jp)

## 【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。